<消費者行政の状況>

事業実績等

長野県くらし安全・消費生活課

(1) 事業者指導による消費者取引の適正化及び安全の確保

ア 特定商取引に関する法律

◆行政処分(指示) 2件

年月日	取引形態	違反行為
H21. 10. 20	訪問販売(学習教材)	書面の記載不備、債務履行の遅延
H25.3.29	訪問販売及び通信販売 (ミシン)	勧誘目的等不明示、契約書面の記載不備、 広告における表示義務違反

◆行政指導

年 度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度 (10 月末)
口頭指導	4 件	3件	0 件	4件	1件	4件

イ 不当景品類及び不当表示防止法 (景品表示法)

年 度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度 (10 月末)
法に基づく措置命令 (H26.11 までは指示)						
注意等の行政指導	15 件	14 件	10 件	13 件	6 件	6 件
違反事実無・打切	16 件	10 件	9 件	11 件	19 件	7件
消費者庁等他機関へ 通知				1 件		1件
11 L	31 件	24 件	19 件	25 件	25 件	14 件

ウ 家庭用品品質表示法

◆立入検査の実施状況

年 度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
検査店舗数	544 店舗	503 店舗	219 店舗	205 店舗	222 店舗
検査品目数	41 品目	46 品目	40 品目	34 品目	42 品目
検査点数	6, 498 点	4,311 点	2, 457 点	2, 164 点	3, 280 点
違反点数	1 点	11 点	0 点	6 点	1点
上記違反の 対象品目	洋傘	かご 靴 漆器類	_	手袋 タオル 浴室用器具	湯たんぽ

※平成24年度より県の検査対象地域は町村部のみ

工 消費生活用製品安全法

◆立入検査の実施状況

年 度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
立入販売店舗数	756 店舗	739 店舗	324 店舗	312 店舗	256 店舗
実店舗数	217 店舗	155 店舗	143 店舗	109 店舗	150 店舗
違反件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

[※]平成24年度より県の検査対象地域は町村部のみ

オ 多重債務者無料相談会 (弁護士会及び司法書士会と連携)

年 度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度 (9/3 実施)
開催回数	10 回	10 回	8 回	8回	8 回	4 回
相談件数	105 件	70 件	57 件	39 件	46 件	19 件
面接	99 件	70 件	54 件	35 件	44 件	19 件
電話	6 件	0 件	3 件	4 件	2 件	0 件

(2) 消費者教育の充実

ア 特殊詐欺等悪質商法被害防止対策の推進

県警察本部と連携を図り次の事業を実施

項目	26 年度	27 年度(10 月末)
「特殊詐欺非常 事態宣言」の発令 及び啓発依頼	・H26.5.23 に知事から「特殊詐 欺非常事態宣言」の発令 ・市町村、県機関、関係団体へ 住民等への注意喚起を依頼	・「特殊詐欺、ひとごとじゃない!」キャンペーン (H27.5.29 ~H27.12.31) を実施・体験型出前講座の実施
長野県消費者被 害防止対策推進 会議の開催	・H26. 7. 23 に設立 (構成団体: 42 団体) ・第 2 回会議を H26. 9. 19 に開催 (構成団体: 64 団体) ・第 3 回会議を H27. 2. 13 に開催	・第1回会議をH27.6.23に開催 今年度の取組内容として、体 験型出前講座を実演
啓発資料の作成・配布	・「特殊詐欺非常事態宣言」チラシの作成し、警察、市町村を通じて高齢者宅へ配布・組み立て式三角柱 POP の作成・配布・啓発用ポスター、リーフレット、クリアファイルを作成し、金融機関を中心に配布・薬袋をモチーフにした啓発用チラシを作成し、薬剤師会を通じて薬局に配布	・「特殊詐欺、ひとごとじゃない!」キャンペーンチラシの作成・配布 ・電話機用スイングポップの作成・配布 ・啓発用ポスター、リーフレット、クリアファイルを作成し、 金融機関を中心に配布、ポスター、リーフレットはコンビニに も設置依頼

	1100 E 01)~ HB /W	
 長野県消費者フ	・H26.5.31 に開催 ・消費者庁山崎次長の基調講演	
オーラムの開催	事例発表、パネルディスカッション	
ス ノムの加催	- ・参加人数 約 180 名	
		1100 年 0 日 17 事状 3 字
	・高齢者の消費者被害防止見守	・H28 年 2 月に実施予定
	り研修会の実施	
高齢者見守りネ	須坂市(参加人数:37名)	
ットワーク構築	茅野市(参加人数:140名)	
事業	伊那市(参加人数:58名)	
1. 1/4	・啓発用リーフレット及びグッ	
	ズ(クリアファイル、メガネ	
	ふき)の作成・配布	
	・電話による注意喚起(業務委	
「狙われやすい	託により、H26年8月からH27	
消費者」集中啓発	年1月まで実施)	
	・ハガキによる注意喚起(かも	
事業	めーるを活用した特定エリア	
	指定のDM)	
		・特殊詐欺の危機意識や当事者
被害防止啓発テ		意識を醸成するため、高齢者
レビ CM・ラジオ		向け、若者向けのテレビ・ラ
スポット事業		ジオ CM を作成し、放映(高齢
		者:8~12月、若者:3月予定)
	・地域、職域等で消費者教育・	・養成講座の開催
	啓発の担い手となる人材の養	(7月2回、8月2回)
消費生活サポー	成	・既登録者の研修会の開催
ター	・養成講座の開催(10 月 4 回、	(10月1回、11月3回開催予定)
	12月1回、1月1回)	・H27 年度認定者数: 78 名
	・H26 年度認定者数:145 名	
	・年金支給日に金融機関等に来	・昨年度に引き続き、年金支給
	店する高齢者を主な対象に啓	日の街頭啓発活動を実施
	発資料を配布し、直接被害防	第9回 H27.4.15 (水)
	止の声掛けを H25 年 12 月から	第 10 回 H27. 6. 15 (月)
	実施	第 11 回 H27. 8. 14(金)
	第3回 H26.4.15 (火)	第 12 回 H27. 10. 15 (木)
特殊詐欺等悪質	第4回 H26.6.13(金)	・H27 年 12 月と H28 年 2 月にも
商法被害防止街	第5回 H26.8.15(金)	実施予定
頭啓発活動	第6回 H26.10.15(水)	
	第7回 H26.12.15 (月)	
	第8回 H27.2.13(金)	
	・北陸新幹線延伸開業に伴う「特	
	殊詐欺被害防止」街頭啓発の実	
	殊詐欺被害防止」街頭啓発の実施(H27.3.14(土)、JR 長野駅前)	

イ 消費生活情報の提供

対象	区分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度 (10 月末)
	ホームページ	通年	通年	通年	通年
消費	メールマガジン		月 1 回配信 (月初めの開 庁日)	月 1 回配信 (月初めの開 庁日)	月 1 回配信 (月初めの開 庁日)
者全	くらしまる得 情報	(6, 9, 12, 3 月)	年4回発行 (6, 9, 12, 3 月)	å	6,9月発行
般	啓発資料	ストップ!消 費者被害(改 定版)		ストップ!消 費者被害(改 定版)	
高齢	啓発資料			特殊詐欺等悪 質商法被害防 止対策事業と して実施	特殊詐欺等悪 質商法被害防 止対策事業と して実施
者	関ブロ共同キャンペーン	(ポスター・リ ーフレット配	9月 (ポスター・リ ーフレット配 布、特別相談)	9月 (ポスター・リ ーフレット配 布、特別相談)	ーフレット配
	関ブロ共同キャンペーン	1~3月 (ポスター・リ ーフレット配 布・掲示、特 別相談)	布・掲示、特 別相談)	1~3月 (ポスター・リ ーフレット配 布・掲示、特 別相談)	
若者	啓発資料	多重債務啓発 資料(高校3 年生等) 「悪質商法が 狙っている」 (大学新入生 等)	多重債務啓発 資料(高校3 年生等)	多重債務啓発 資料(高校3 年生等)	
	雑誌広告	(長野こまち) 年6回			

ウ 悪質商法についての注意喚起情報の提供

年度	内 容 等
27 年度(10 月末)	・マイナンバー制度に便乗した不審な電話等 10件 ・高齢者のIP電話に関する相談 ・医療経営コンサルティングなどの事業を営んでいると偽って社 債購入を勧誘する事業者 など
26 年度	・番組制作会社を装って未公開株や社債の購入を勧誘する事業者 22 件 ・詐欺的なサクラサイト商法 ・医療費の還付金詐欺 など
25 年度	23 件
24 年度	26 件
23 年度	19 件
22 年度	13 件

エ セミナー・講座の開催、消費者との意見・情報交換

◆くらしのセミナー

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度(10 月末)
	18回 1,168人	18回 1,063人	29回 1,334人	15回 686人
テーマ	・放射性物質とその 人体への影響・大人が知らない子 供と携帯ゲームの 世界・住宅リフォームの 基礎知識	・くらしの安全(リコール情報) ・スマートフォンの 仕組み ・特殊詐欺被害防止 ・かしこい消費者になろう	・消費者被害防止見 守りネットワーク 構築 ・スマートセーフティ ・だまされる心理 ・食生活と健康食品	・「機能性表示食品 制度」って何? ・特殊詐欺、ひとご とじゃない!
		・エンディングプランを考える	•終活講座	

◆出前講座(学校関係)

区 分 24 年度		25	年度	26 年度		27 年度 (9月末)		
大学・短大・専門	24 回	5, 485 人	22 回	5,059人	25 回	5,462人	16 回	3,538人
高校	13 回	1,586人	10 回	760 人	8回	581 人	2 回	90 人
中学校	1回	9人	2回	34 人	13 回	321 人	1回	22 人
小学校					1回	35 人		
特別支援学校	3 回	33 人	2回	56 人	2 回	53 人		
教員・その他			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				7回	272 人
計	41 回	7, 113 人	36 回	5,909 人	49 回	6,452人	26 回	3,922人

◆出前講座(団体・その他)

区分	24 年度		25 年度		26 年度		27 年度 (9月末)		
消費者団体	33 回	857 人	34 回	973 人	31 回	831 人	21 回	546 人	
福祉事業従事者向け	13 回	5, 227 人	19 回	4, 693 人	15 回	3,864人	7回	1,063人	
高齢者向け	25 回	1, 149 人	55 回	1,857人	73 回	3,010人	47 回	1,250人	
企業	2 回	54 人	3 回	233 人	1回	47 人	1回	62 人	
その他	16 回	424 人	19 回	1,067人	22 回	2,118人	17 回	820 人	
計	89 回	7,711人	130 回	8,823 人	142 回	9,870人	93 回	3,741人	

◆消費者問題シンポジウム

	24 년		25 年	度	26 年度		
	1回	180 人	1回	30 人	1 回	120 人	
テーマ	安心して生活するために 必要な消費者教育につい て		これからの消 者行政を考え		[消費者教育推進セミナーとして開催] 消費者教育の推進に向けた連携・協働のあり方とは		

◆生活設計金銭教育 : 県金融広報委員会との連携による普及啓発

(3) 消費生活相談体制等の充実

ア 消費者被害救済の充実

事 業 名	事 業 内 容 等						
	設置年月:平成21年8月 付託実績:0件						
救済委員会	委員会開催:年1回 平成26年10月28日、平成27年11月17日						
の運営	消費者被害が多発した事案や消費者の利益が著しく侵害される紛争について、知事の付託に応じ、あっせん・調停を行う委員会を設置・運営						

イ 市町村相談体制の強化・支援

	24 年度		25 年度		26 年度		27 年度(見込)	
事業名	市町村数	実施額	市町村数	実施額	市町村数	実施額	市町村数	実施額
ア 消費生活相談機能	市町村	千円	市町村	千円	市町村	千円	市町村	千円
整備事業・強化事業 [消費生活センター等の 設置]	21	3, 368	8	5, 736	4	1, 652	1	30
イ 消費生活相談員養 成事業 [消費生活相談員養成の ための研修参加支援]	2	4, 450						
ウ 消費生活相談員等 レベルアップ事業 [担当者のレベルアップ のための研修参加支援]	19	1, 678	17	1, 713	14	831	16	1, 896
エ 消費生活相談体制 整備事業 [消費生活相談員の配置]	5	5, 133	9	9, 747	12	14, 418	13	18, 319
オ 地域社会における 消費者問題解決力の 強化に関する事業 [啓発、消費者教育等]	34	21, 829	24	25, 853	19	19, 759	23	21, 462
計十	38	36, 458	29	43, 049	27	36, 660	29	41, 707

(4) 関係団体等との連携強化

ア 消費者団体との意見・情報交換

- ○平成21年度から「消費者問題シンポジウム」を消費者団体と共催で開催(年1回)
- ○消費者団体連絡協議会との懇談会の開催(年1回)
- ○「市町村消費者行政窓口と消費者団体との懇談会」

(消費者団体連絡協議会主催、県下9会場)

イ 消費者団体等活動支援事業に対する助成

○平成 24 年度から、県内の民間団体が実施する消費者問題に関する学習会、講演会などの経費に対して補助することにより、団体活動の支援を実施

24 年度 5 団体 2,226 千円

25 年度 6 団体 1,298 千円

26 年度 5 団体 552 千円

27 年度 4 団体 1,140 千円 (10 月末現在)